

2016年1月 21 日
愛知製鋼株式会社

知多工場 第2棒線圧延工場事故に関して(第3報)

本年1月8日(金)に当社 知多工場第2棒線圧延工場で発生した事故につきまして、近隣住民の皆様をはじめ関係各位には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことに改めて深くお詫び申し上げます。本件に関し、1月21日現在で判明しております内容を下記の通り お知らせいたします。

1. 事故の経緯

- ・1月8日 22時頃、第2棒線圧延工場の操業運転のため加熱炉内点火作業に入る
- ・23時30分頃、オペレーターが加熱炉配管内を燃料である都市ガス(以下ガス)に置換する作業に入る。
- ・23時45分頃、パイロットバーナーを点火したところ爆発発生。

2. 事故の原因について

加熱炉の点火作業において、調節弁、遮断弁等のバルブ類から漏れたガスが加熱炉内に滞留(現在、バルブを回収し解析中)。点火前に行うエアパージ作業が実施されず、滞留したガスに点火したパイロットバーナーの火が引火し事故に至ったと想定しております。

3. 事故対策体制について

今回の事故に対し、迅速な情報共有化とトップマネジメントによる対応を図るために、加熱炉事故の緊急対応を目的として、製造本部長をリーダーとする対策本部会議を1月9日以降、継続実施しております。既に他の類似設備と手順書の総点検を実施し、ルールの再周知と再徹底を図っております。

4. 今後の供給体制について

復旧までの間、当社在庫、代替ラインでの生産および他社様への生産委託により、供給体制を構築しております。個別製品につきましては、当社営業担当部門よりお客様へ 適宜ご連絡させていただいております。

5. 復旧見通しについて

事故の影響による加熱炉の損傷により、第2棒線圧延工場は現在休止をしております。

(製鋼工場、他の圧延工場、鍛造工場、電子部品工場は通常操業)。

現時点の復旧見通しは、3月月内の稼働を目指しており、1日でも早い復旧に向け、関係者一同 全力を尽くしていく所存でございます。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は現在精査中でございます。詳細が判明し、開示が必要と判断した場合は速やかに開示いたします。